

### 動物実験委員会の開催日及び審議事項

	第1回動物実験委員会
開催日	平成23年9月8日(木)
開催場所	事務局第6会議室
審議事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 平成22年度自己点検・評価について</li> </ul> </li> <li>○ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 飼養保管状況報告書の集計について</li> <li>2) 動物実験計画書 WEB 申請審査システムについて</li> <li>3) 家畜伝染病予防法施行規則の改正等について</li> <li>4) 動物の愛護及び管理に関する法律の改正に向けた審議の進捗状況について</li> </ul> </li> </ul>

### 動物実験の新規承認件数及び変更承認件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規承認	9	6	9	5	9	3	2	4	6	2	1	10	66
変更承認	8	11	4	9	9	9	3	7	9	9	10	5	93

### 動物種ごとの飼養保管状況

	マウス	スナネミ	ハムスター	ラット	モルモット	トリ	ウサギ	ネコ	サル	イヌ	ヒツジ	ブタ	合計
匹数	97,790	182	59	9,561	16	0	284	0	6	0	0	93	107,991

※ 学内最大の飼養保管施設が増築改修工事のため、年度内に2度の移設を行った結果、一部の動物を重複計上している。

### 飼養保管施設及び動物実験室の申請件数及び承認件数

	申請件数	改善無し承認件数	改善意見付与件数	改善後承認件数
飼養保管施設	2件	1件	1件	1件
動物実験室	5件	0件	5件	5件

### 動物実験により得られた成果

発表論文件数 ※（ ）は投稿中で内数	発表学会件数	産業財産権
164編（30編）	86回	1件

## 教育訓練実施状況

### 動物実験施設

開催日	平成23年4月12日	平成23年4月13日	平成23年4月14日
受講者数	21名	13名	32名
開催日	平成23年7月29日	平成23年8月10日	平成23年10月14日
受講者数	21名	1名	6名
開催日	平成23年11月22日	平成23年12月7日	平成23年12月8日
受講者数	4名	3名	44名
開催日	平成23年12月13日		
受講者数	5名		

### 環境科学部

開催日	平成23年4月19日	平成23年4月26日
受講者数	10名	1名

### 水産学部

開催日	平成23年5月24日
受講者数	32名

## 動物実験に関する自己点検結果

### ○ 安全管理の状況

1. 安全管理の必要な動物実験（感染・組換え・放射線・発癌等化学物質）について、適切に管理されていた。
2. 必要な安全設備や衛生設備は整備されていた。

### ○ 実験動物の飼養保管状況

1. 飼養保管施設の管理及び保守点検は行われていた。

#### 【取り組み例】

- ・ 飼育室の温度、湿度をモニターしている。
- ・ 朝晩定期的にチェックしている。

2. 飼養保管中の動物の数や状態については、管理されていた。

#### 【取り組み例】

- ・ 台帳（動物飼育・実験記録簿）により搬入・処分記録を残し、飼育動物数を把握している。
- ・ 毎週、飼育状況を点検している。

3. 実験動物管理者等が入手先等を示す記録を保有している。

#### 【取り組み例】

- ・ 動物納品書の写しを残している。

4. 動物の逸走等に関する事故については、管理されていた。

#### 【取り組み例】

- ・ 飼育室には逸走防止柵を設置しており、飼育室内でも逸走があれば報告を受けることにしている。

○ マニュアルの記載内容について

1. いずれの施設も適正な飼養保管を行うためのマニュアルが作成されていた。

【取り組み例】

- ・ 動物の搬入・検疫、飼育室の環境条件などがマニュアルに記載されている。
- ・ 大災害発生の緊急時の危機管理の一つとして、逸走防止措置と逸走時の対応について、マニュアルに記載されている。

○ 施設等の維持管理の状況

1. いずれの施設も概要を示す平面図を有し、維持管理されていた。